

思春期講座で 性と生を考える

白糠高生

【白糠】白糠高校（田村信明校長、生徒67人）で全校生徒を対象にした「思春期保健講座」が開かれ、全国で性に関する講演活動などを行っている「オフィスいわむろ」の岩室紳也代表生徒に質問を投げ掛ける岩室代表



が「自分で決めよう性と生」をテーマに講話した。
7月21日に実施。岩室さ

んは自身の経験や性感染症と人工妊娠中絶の危険性、具体的な避妊方法や性感染症の予防などについて説明し「パートナーに対する思いやる気持ちが非常に大事。男女共に常に相手の気持ちを考えて行動をしましょう」と呼び掛けた。

その上で「性に関する悩みは恥ずかしい。少しでも分からないことは、家族や友人に相談してください」と語り掛けた。石井寿鶴生徒会長（3年）は「ユーマアふれる講話で分かりやすかった。これまで恥ずかしいと思う部分のテーマだったが、今後しっかりと考えていきたいと思った」と話していた。

（森崎博史）